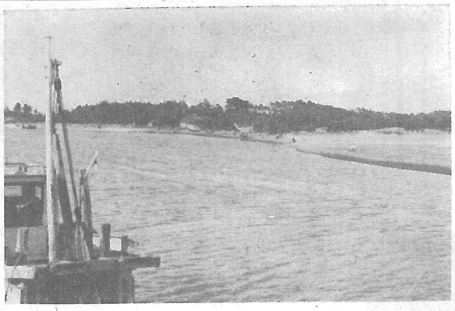
屋形海岸「なつ」も終りぬ

バカンスブームを反映して、新聞やラジオ、テレビで報道されたように、各地の海水浴場は有史以来の大繁昌で業者も笑いがとまらないとか。同じ九十九里海岸でも従来から名前の知られた片貝や一宮では今年あたりは押すな押すなの盛況で、片貝などは海水浴客の大量死者を出すなど、暗い事故もあり、海水浴場の在り方に大きな警鐘を与えるような一駒もありました。

当町の屋形海岸も、海あり川ありて、安全な海水浴場としては九十九里海岸屈指のものであり、PRの如何によっては、今後相当の繁栄が望めるものと考えられております。町でも海岸の開発については、色々と努力を重ねており、漁港も着々と整備され、海岸一帯の町有地の活用、道路網の整備も看視員の数も常時三人にふやし、安全な遊泳地域を標示するブイも敷設するなど、海水浴客の受入れには万全を期しました。商工会も臨海寮のすぐそばに、直売店を設けて海水浴客の不便解消にこれ努めました。

本年は、幸に好天に恵まれ、多いときで三千人平均すれば毎日四百人位の人が、海岸を訪れたことになります。

幸に事故もなく、夏の日射しを一杯に受け、元気に水しぶきを上げて楽しむ海水浴客の姿を思うにつけ、来年こそはもっと施設を充実して、多くの人々に楽しんで頂けるような海水浴場をと関係者一同、大いに張り切っております。



【つ待つを来年にかえやかに和も岸屋形海岸の松の屋青い欲しーローガンバ】

＝結核は決欠＝

病名を問われてすぐに、結核です、と答えられる人は少ない。肺病などとはなおさらである。

疲れがでたのでしょう、と言訳がましくいって「胸なんです」というのがせいぜいである。おそらく、大半は胸をおさえて「ここをやられました」と答えることであろう。

気兼のいらない患者同志でさえ、会話のなかではテーベイ（TB）という。

浴場をモットーにそのように観念していたし、恐いものに目を閉じ、口にするのもはばかる気持の表れであり、事実、難病の一ツでもあったからであろう。

幸い、医薬の進歩した今日では、加療さえ早ければ、必らず治癒することが約束されている。

だがしかし、どんなに加療期間がせばめられたとしても、半年間は療養しなければならないのが現状である。したがって、医療費もかさむはずだが、健康保険を利用すれば患省が世帯主の場合全部の治療費の三割で足りる。

長い闘病生活は経済的にもゆきずまりをきたし、及ぼす苦悩は倍加する。このしつようなこう病から逃れるためには必らず検診を受けて、早期発見に努めるべきである。そして、一度発病と診断を不さいは許されない。何をおいても早期加療に努め、仮初にも所謂病気の名手になってはいけない、結核は決欠、決断を欠いた時が一番恐しいのだ。

親切

二百十日もどうやら無事に終った此の辺りは初秋の陽ざしに包まれて限りなく幸福そうである、そんな中をゆるやかに走るバス、―さわやかな風、と快い陽光に車内は伸び伸びした気持だった。

内部は割合混んで座席は殆んどなく、吊皮にぶら下っている人も少くはなかった。それが右に左に揺れ動いていた。

私の隣に一人の巡査が座っていた、時刻は午前十時だったかと思う。グレーの制服は大分汚れていた、彼はバスの進行につれて、伝はってくる軽い震動に誘はれるように、うつらうつらとまどろみつづけていた。烈しい疲労の影が、彼の顔一杯に、濃く現はれていた。

昨夜は定めし、一睡もしなかったのであろう、彼の重い眼蓋が十分にそれを語っている。

昨夜は多分、火事場の警戒か、深夜の非常配置かで、何度かは生命の危険を感ずる緊張にも神経を用いたであろう。――仕事―住民の安全保護――彼は容赦なく働かなければならなかったにちがいない、私はそのよごれた服とざまれた顔の疲れに感謝さえしたくなって来た。――バスはそんな情景を乗せたまま走りつづけていた。

其の時――

人々を掻き分けて、づかづかと乗り込んで来た一人の紳士風の男があった。見るからに意地の悪そうな短い髭が目官でありながら、此の満員のバスの中でよくも居眠りをしていられるね、他の乗客を見給えこんなに立っているじゃあないか、いいかげんに遠慮し給え。」彼は威丈高に、巡査をきめつけた、斜に上った彼の肩は、はげ鷹が餌物を視るような惨ぎゃくさえ見せていた。

咄嗟に巡査は立ち上った。口をきくのさえ物憂さそうに思はれた。――

さすが気がひけたと見えてその空席には誰も腰を下そうとはしなかった、その男も無論立っていた。――歯の抜けたような座席と車内の空気した気分は中断された重苦しいものに変ってしまった。車内の気まずさに宛の外れたような紳士風の男は六十年輩の老母を見つけて、時を得たとばかり

「あゝ年寄りの婦人、席が空いたからお座りなさい、此んな年寄りがいるのに、全く失敬な警官だ！」他の客に対する言訳ともとれるようにひとり言を交えて老母を誘った。

だが――次に思いがけない場面が展開した。

「何ーわしかね、年寄の婦人ではない、冗談じゃないよ、わしやお前さんより若いつもりだよ、疲れて居眠りをしている人を起してまで座る程年はとっていませんよ、腰も根性もそれ程曲っちゃいません」よ手痛い老母の反撃である。

「な　なんだ、人の親切を」

真赤になった紳士風の男に更に老母の言葉はつづいた、「親切だって、それが押売りってもんだ、親切の本当はな人を起すのには肩でも叩いてやってから声を出すもんだ、そんなに腰かけが気になるならお前さん座ったらよかっべ」

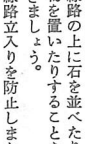
笑に変った。――次の停留場でコソコソ降りて行く紳士風の男。

「もしもし○○は次ですよ」

車掌も前からの様子で注意も一回に止めて二度とは注意をしなかった。

「発車、オーライー」

バスは再び穏かな空気に包まれた。



レジャーは内職で…

――破れ障子に十燭位の裸電球、気ぜはしく紙袋をはるおかみさん、脊中では嬰児が泣きつかれ、古カバンを横に机代りの密柑箱で本を見ている少女――こんな内職の時代はすでに舞台や映画の名残りです。……レジャーも絶対的必要性を欠くので急一、直接の監督もなし、収入を内職で楽しむ……これが最近の奥さん方の常識です。県では昭和三十三年からすでに「内職公共職業補導所」を設けてこれらの方のために、依頼と引請の斡旋を行っております。先日この補導所から次のような連絡が厚生課宛にあったのでおしらせをして見ます。

一、内職はなるべく一つのグループを作ってやる方がよい

町村役場なりに御相談下さい

以上千葉内職公共職業補導所からの連絡です。

一、家族と話合ってから始めたいもの、どうしても家族の世話が出来なくなるから

一、仕事はていねいに納期を守ると共に材料も大切にする

大体こんなことがレジャーを楽しむ内職の憲法だそうです、若し何人かまとまって計画されるようでしたならば直接千葉市吾妻町の補導所なり

だれでも、ドロをかけられて不愉快でない人は、いないはずです。

それが、外出着でも着て、ビシャッとでもやられたら、……これは不愉快どころではありません。

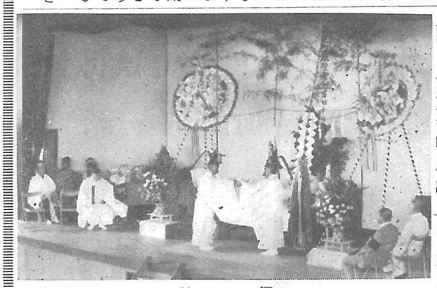
もちろん、ドロハネ運転は法律で禁止されていますが、どんなときでも歩行者の身になってあげて下さい。

○特に風雨が烈しい日が多い時期、学期始めの気のゆるんだ子供さんの為には特に気をつけて下さい。

慰霊祭おごそかに＝中学校体育館の祭段で＝

本年度戦没者慰霊祭は、七月九日中学校体育館に仮設された祭段で厳かに執行された。集う者三百―神官の奏上する祈禱の中に自然に頭を垂れた遺族は、遙か在りし日の夫を父を兄を弟を想い浮べて泪新たなものがあり、

来席者亦一人として席を外す者もなく、国の柱となった英霊に対する式典にふさわしく、広報取材者も自分の使命を忘れて祭典中の人となるの感があった。



献　饌

＝レジャーからマネービル＝

内職も又楽しいものです、近所同志相談して一度役場にお出かけになって見てられてはいかがです。係は優にやさしい気のおけない嬢さん、「あら私も仲間に入れてくれません」とでもいいそうな人柄。玄関の右手一番奥の窓口にいる筈。

お互いの思いやりで

交通事故を防ぎましょう

○急に雨の来る夕立

そんなときには、どうしても交通事故が多くなります。

また、思いがけない大事故も起きがちなものです。

それというのも

雨にぬれた道路は車がすべりやすい。

それでなくても曇って見通しが悪いうえに、車の窓ガラスは曇りがち、人はカサをさしたり足元に気をとられがちといった、いろいろの悪い条件が重なるからと思われます。

○雨の降る日には、くれぐれも御注意をお願いします。

ドロをはねないで

車を運転するおじちゃん！私のオベベにドロをはねないでネと、かわいいベビーたちが言ってます。

＝レジャーからマネービル＝

内職も又楽しいものです、近所同志相談して一度役場にお出かけになって見てられてはいかがです。係は優にやさしい気のおけない嬢さん、「あら私も仲間に入れてくれません」とでもいいそうな人柄。玄関の右手一番奥の窓口にいる筈。

区長・総務員・連絡員名簿

〔（総）―総務員・（連）―連絡員〕

区分	氏名
東町区長（総）	伊藤源之助
第一（連）	土屋　源吾
第二（連）	川島　真人
第三（連）	田中　孫作
第四（連）	若梅　義治
本町区長（総）	真行寺多仲
第一（連）	伊藤　雅庸
第二（連）	前川　嘉重
第三（連）	宇井　徳夫
第四（連）	瀬理　忠作
上町区長（総）	藤沢喜三郎
第一（連）	岩井　秀夫
第二（連）	熱田　実徳
第三（連）	高橋徳次郎
第四（連）	高橋　常吉
古川区長（総）	吉田寅之助
両国新田区長（総）	高宮　一夫
栗山区長（総）	青木　嘉幸
東部一（総）	鈴木英太郎
二（総）	若梅　昭
三（総）	若梅　清正
四（総）	鈴木　操
四ノ二（総）	若梅　勝治
青芝会（総）	永井　栄
東ケ丘（総）	根岸　良平
宮脇一（総）	寺本茂一郎
宮脇二（総）	国府浜都根一
南部一（総）	中野　哲哉
南部二（連）	矢沢　亀吉
鳥喰新田区長（総）	押尾　義治
鳥喰上区長（総）	太智　義博
鳥喰下区長（総）	斎藤　道徳
鳥喰沼区長（総）	大磯　春吉
屋形宮前区長（総）	海保　喜重
荒場区長（総）	五木田五郎
三本松区長（総）	荒瀬　光
立会区長（総）	林　武夫
南川岸区長（総）	佐瀬　哲司
南区長（総）	伊藤　政吉
新島道貫区長（総）	小高　豊治
新田区長（総）	秋山　昇
本郷区長（総）	川島　六郎
荒場区長（総）	伊東　正好
三島区長（総）	山本　義郎
北清水入間区長（総）	浅野　清

区分	氏名
三軒家区長（総）	川島　静
西区長（総）	浅野　澄夫
関場区長（総）	川島　克己
新青区長（総）	川島　明
東区長（総）	平山　貞治
木戸台区長（総）	佐久間常治
小堤区長（総）	永藤　清司
寺方区長（総）	藤　辰尾
寺方一（連）	八角　栄男
寺方二（連）	実川　東一
曾根台区長（総）	鈴木　恒
於幾区長（総）	奈良　行夫
坂田区長（総）	木川　進
取立区長（総）	野本　真
長倉区長（総）	小池　知
うば山区長（総）	伊藤　進
遠山区長（総）	五木田　隆
稲荷区長（総）	萩原　進
谷台区長（総）	松岡　斌
中台区長（総）	小柴　一
牛熊区長（総）	
町原区長（連）	

○鉄道防害の防止に皆様、是非御協力下さい

最近、線路の上に石を並べたり、物を置いたりする悪質な鉄道妨害が相次いで起きています。もし、列車がこれに乗り上げると多数人命を失う恐ろしい事故をひき起します。国鉄ではこの妨害をなくすよう努力して居りますが管内全部の鉄道を絶えず同時に守るにはどうしても力が足りません。皆様、どうぞ鉄道妨害の防止に特段の御協力をお願いいたします。

㈠線路の上に石を並べたり、物を置いたりすることを防ぎましょう。

㈡線路立入りを防止しましょう。

㈢子供さんを線路の附近で遊ばせないようにしましょう

㈣汽車や電車に向って、空気銃をうったり石や物を投げさせないようにしましょう

㈤踏切を通るときは、必ず一度止まって左右を良く確かめて下さい。

無理な踏切横断はやめて下さい。

困ったことです

他人の地所や、指定外にゴミや硝子、瀬戸物屑を捨てる不らちな者が居る。〃自分さえ良ければ〃の気持は鳥獣にも劣る。砂浜の蟹でさえ自分の穴以外には入らないではないか。特に烈しいのは、旧こみ捨場跡、旧横中香取さまの道路端、現中学校付近の伊藤恵夫さん所有の畑であると聞く、――該当する人よ、良心の粉抹でもあれば今後は是正されよ。――若し此の文に〃俺のことだ、人を馬鹿にするな〃と噴る心あらば、〃捨てられ汚される人〃の身を考えても見よ、自ら事の善悪は分る筈である。

八月炎暑烈しく

蝿蚊特に多き日、有縁による匿名氏の苦情を聞きて、（文責編輯子）